

	<p>令和7年3月25日 発行          東京都立しいの木特別支援学校          校長 濱渦 孝治          担当 大澤 弘幸          電話 0436-66-2790</p>	<p><b>第11号</b> (学校便り)</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------

旅立ちの日に

校長 濱渦 孝治

中学部1名は上級学部へ進学し、そして、高等部3年の生徒たちは12年間の学校生活を離れ、社会へ旅立つときを迎えました。卒業生の皆さん、ご卒業、本当におめでとうございます。

特に、高等部3年の皆さんは学校生活を離れ、新しい生活が始まります。困難な場面に遭遇したときは、一人で悩みこまず、しいの木の先生たちに連絡してください。話をする中で気持ちの整理ができるかもしれません。そして、自分の将来の夢を実現できるように、職場に、体験や実習の機会に、全力で臨みましょう。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。ご家庭と遠く離れた本校の教育活動に、ご理解ご協力いただいたことに心から御礼申し上げます。これからもどうぞお力を頂き、卒業する児童・生徒たちを変わらず支えていただけますよう、お願い申し上げます。また、東京都千葉福祉園、袖ヶ浦のびろ学園の皆様には、児童・生徒の日々の生活を愛情深く見守り、粘り強く励まし支えていただいたこと、心より御礼申し上げます。高等部3年生をはじめ、まだまだ支えの必要な児童・生徒ばかりです。これからもどうぞ学校と連携を密に行い、卒業する児童・生徒たちを地域とともに支えていただけますよう、お願い申し上げます。

さて、本校は、昭和44年の開校以来、施設提携校として、あらゆる困難を乗り越え、常に教育の充実に向けて、多くの関係者の皆さまからのご理解とご支援をいただきながら、歩みを進めて参りましたが、令和6年度末をもって閉校となります。今年度卒業された皆さんは「しいの木特別支援学校」の最後の卒業生ということになります。令和7年度からは、都立中野特別支援学校を本校とする「しいの木分教室」として新たな歩みを始めます。今後もこれまでと同様に「しいの木だからこそできる教育」に向けて、一步一步 確実に前進して参ります。55年間の長きにわたり、本校を支え慈しみ育てていただきました関係機関の皆様、地域の皆様、御指導御支援をいただきました都関係者、歴代校長をはじめ旧職員の皆様方の御努力に敬意と感謝の意を表しますとともに、本校に関係した全ての皆様方の今後の御多幸をお祈りいたしまして、惜別の御挨拶といたします。

本年度一年間本当にありがとうございました。

次年度について

主幹教諭 大澤 弘幸

今年度も本校の教育活動にご理解、ご協力ありがとうございました。令和7年3月31日をもってしいの木特別支援学校は閉校し、令和7年4月1日に中野特別支援学校しいの木分教室が設置されます。

次年度の教育課程ですが、中野特別支援学校になることから当然、中野特別支援学校の方針も踏まえていますが、しいの木特別支援学校で培ってきたものを大切に、また、しいの木分教室で学習を積み重ねる児童・生徒にとって最適な学習が展開できるよう教育課程の編成をいたしました。詳細は、第3回全校保護者会資料や別途配布しています時間割や年間行事予定等をご確認ください。不明点等がございましたらお気軽にお問い合わせください。

教員の専門性向上に向けた取り組みも引き続き充実させていきます。外部専門員に関しては、分教室単独で選定、依頼をしています。分教室にとって心強い外部専門員の先生方に次年度も御力添えをいただけることになっています。夏季休業日中等の教員向け研修も、すぐに教育実践に生かすことができるテーマを設定し、講師に依頼をしています。校内でのOJTの充実も引き続き行い、分教室全体での授業力、指導力向上を図っていきます。

次年度のしいの木分教室の教育活動に期待してください。どうぞよろしく願いいたします。

## 4月の予定

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	春季休業終
5	土	
6	日	
7	月	始業式、入学式 11時40分下校
8	火	短縮授業日 13時50分下校
9	水	短縮授業日 13時50分下校
10	木	短縮授業日 13時50分下校
11	金	短縮授業日 13時50分下校
12	土	
13	日	
14	月	第Ⅰ期現場実習始
15	火	
16	水	
17	木	歯科検診
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	避難訓練（地震）、安全指導日
23	水	眼科検診
24	木	内科検診 短縮授業日 13時50分下校
25	金	授業参観日、保護者会
26	土	
27	日	
28	月	短縮授業日 13時50分下校
29	火	昭和の日
30	水	保護者通信発送日

## 小学部より

4月は、新たな教員との出会いに緊張している様子が見られた子供たちでしたが、一緒に楽しい活動をしたり、困ったことを乗り越えたりする中で、安心して私たち教員を受け入れて過ごすようになりました。今年度は、2人の転入生も迎え、どんどん集団が大きくなっていました。様々に変化する環境や学習活動の中でも、対応する力がどんどんついてきて、困惑ではなく、好奇心をもって臨む姿が多くみられるようになりました。子供たちのたくましく生きる力を感じられた1年でした。また、子供たちは、「わかる」ことが増え、伝えたいことが教員に伝わったときの嬉しそうな表情や声は、こちらも幸せを感じずにはいられないものでした。これからも、「わかる」ことの楽しさ、人と共有することの嬉しさをたくさん体験してもらいたいです。

保護者の皆様には、たくさんのご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。（文責：森 澄美子）

## 中学部より

この1年間で生徒たちは大きく成長することができました。生徒たちは、担任や学部の教員との信頼関係を土台に、安心して生き生きと生活する姿が多く見られました。楽しいときや悔しいときなど、正直に気持ちを表出し、カードや言葉で伝えることが上手になりました。今年度は、他校との交流や体育行事で、バスに乗車する機会が多い1年でした。緊張する場面もありましたが、移動や活動に気持ちを向け、担任と一緒に貴重な体験を積み重ねることができました。校外学習や修学旅行でのアトラクションを楽しむ姿や美味しく食事する姿を見るなど、充実した行事を実施することができたことを嬉しく思います。

保護者や施設の皆様とも、生徒の健康面や学習面について、情報共有ができたお陰もあり、指導や支援に役立てることができました。ご協力ありがとうございました。（文責：山田 麻衣）

## 高等部より

今年度は、しいの木特別支援学校の閉校という大きな区切りの年であり、生徒たちは例年以上に行事を大切にしていました。「55周年を祝う会」や「しいの木祭」などは、高等部3年生を中心に早い段階から計画的に準備に取り掛かりました。事前学習は生活単元学習を中心に取り扱いましたが、他教科の音楽や体育、家庭、美術、作業学習等の学習内容とリンクさせ、物事が関連付けできるようにし、日頃の学習活動が行事へと集約されるよう工夫しました。行事を乗り越えるごとに生徒たちは自信をつけ、大きく成長しました。本人たちの努力もありますが、来校いただき、発表を見たり、励ましたりして下さることで、生徒たちの意欲が高まり、行事を成功させることができたのだと思います。保護者の皆様や関係者の皆様からは、多大なご協力をいただきました。感謝申し上げます。（文責：古山 武）